

ひたちなか市立新中央図書館 基本設計図書（概要版）

2025 年 5 月 ひたちなか市

■計画概要

□敷地概要

施 設 名 称：ひたちなか市立中央図書館

地 名 地 番：茨城県ひたちなか市石川町地内 25 番、25 番 3

敷 地 面 積：30,174.55 ㎡（内 . 図書館計画範囲：約 9,000 ㎡）

用 途 地 域：第 2 種住居地域

指 定 建 蔽 率：60％（都市公園法：15％）

指 定 容 積 率：200％

地 区 計 画：石川・青葉地区地区計画

防 火 指 定：指定なし

道 路 幅 員：北側：11m、西側：8 m、南側：8m、東側：6 m

□建築計画概要

施 設 用 途：図書館法第 2 条第 2 項に規定する公立図書館

建 築 面 積：約 3,500 ㎡

延 べ 面 積：約 4,500 ㎡

容 積 対 象 面 積：約 4,500 ㎡

容 積 率：約 15％＜許容：200％

建 蔽 率：約 12％＜許容：15％

建 築 物 の 高 さ：GL+9.5m

最 高 高 さ：9.5m＜許容：10m（地区計画）

構 造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

階 数：地上 2 階

駐 車 台 数：約 120 台（車椅子使用者用 3 台含む）

駐 輪 台 数：約 80 台

エ レ ベ ー ター：乗用 2 台

収 蔵 可 能 冊 数：約 40 万冊

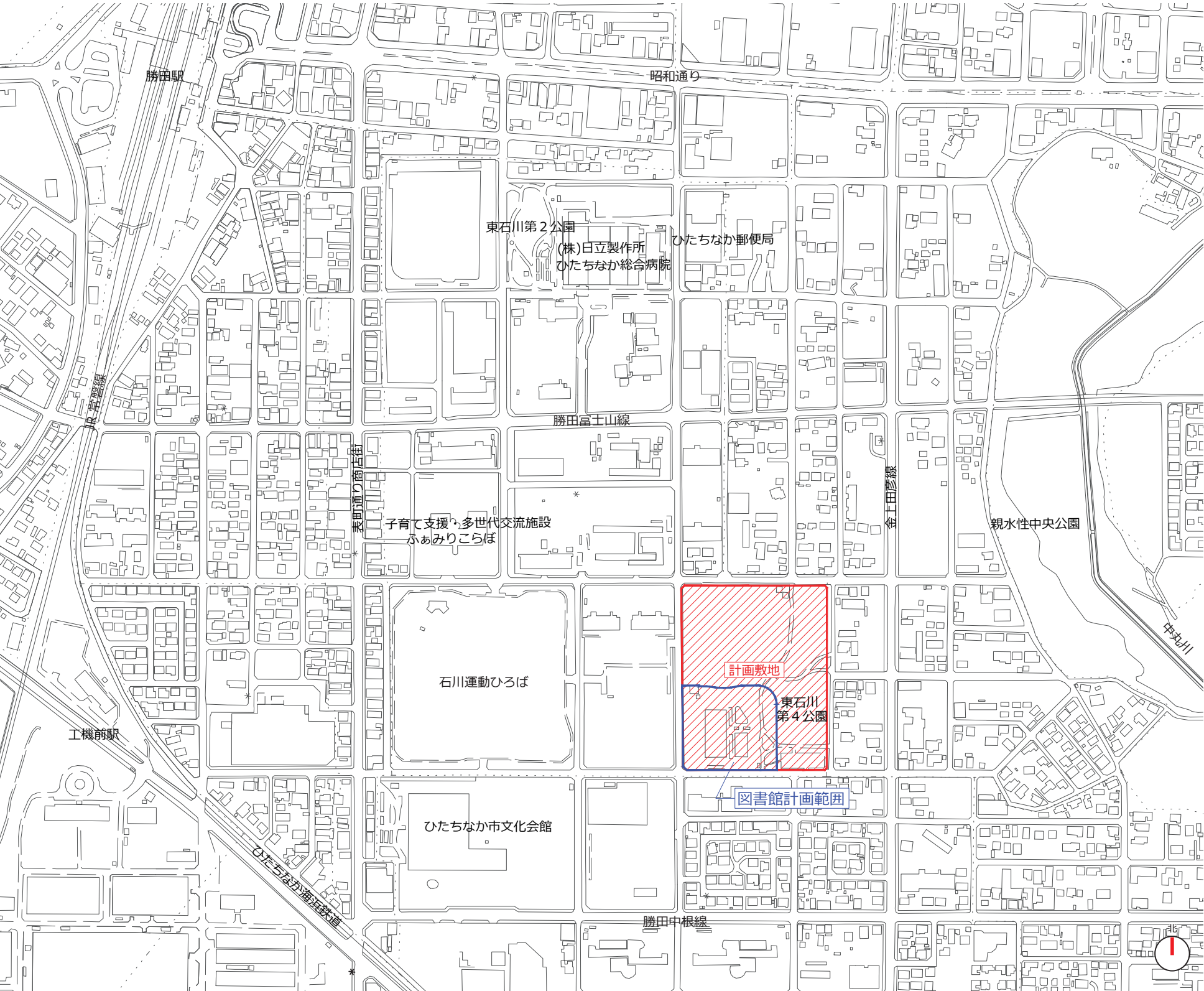
座 席 数：約 450 席

省 エ ネ 適 合：ZEB Ready

□事業スケジュール

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度
工程	基本設計	実施設計	発注	新築工事	移転 開館

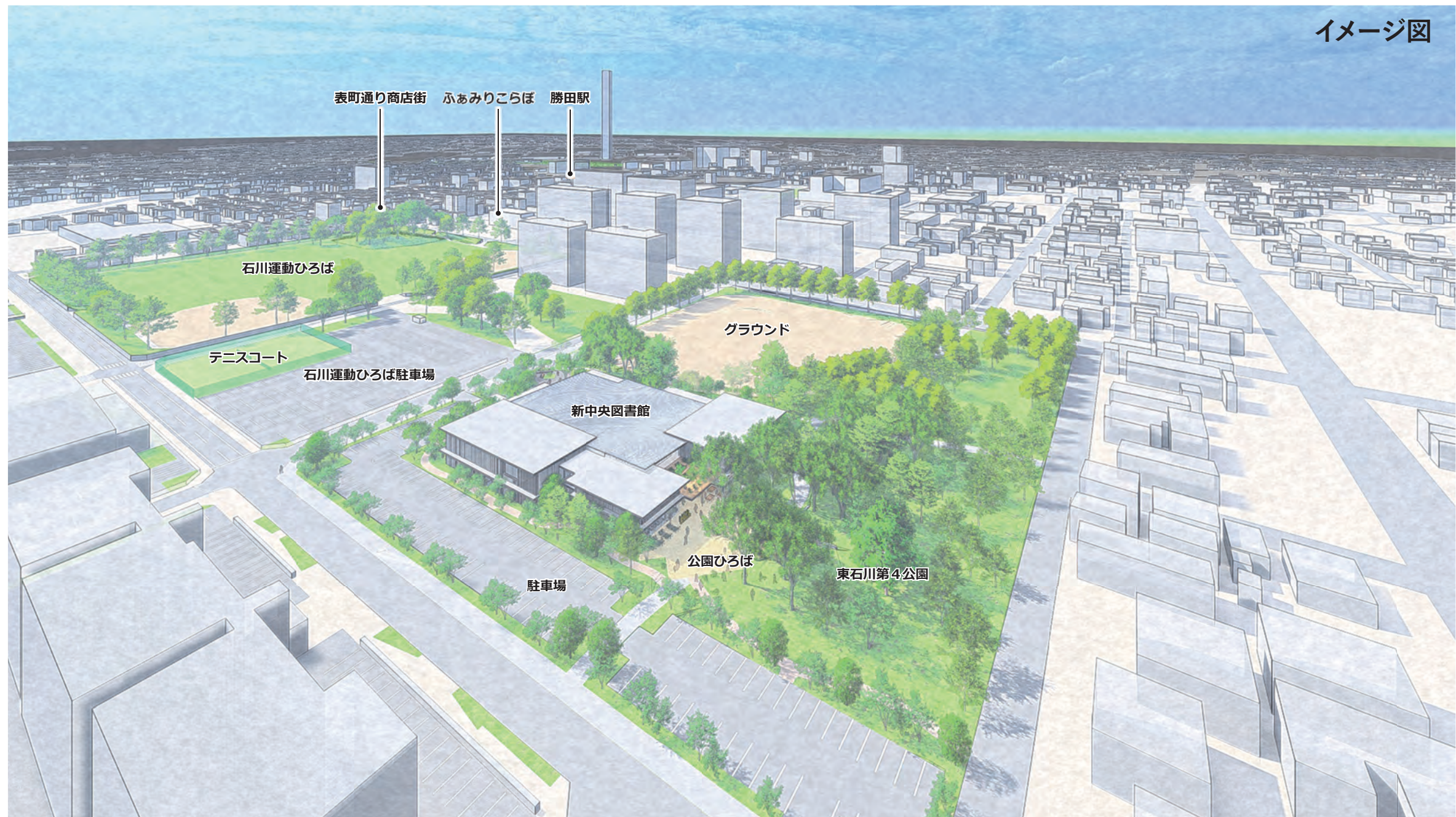
□案内図



■ 設計コンセプト

心地よい緑の中で、ひたちなかの魅力に出会える、交流・情報・創造拠点

- 1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館
- 2 "人の活動・まちの情報・新たな本" と出会える「シビックリング」を骨格とした図書館
- 3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館



新中央図書館のイメージ

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

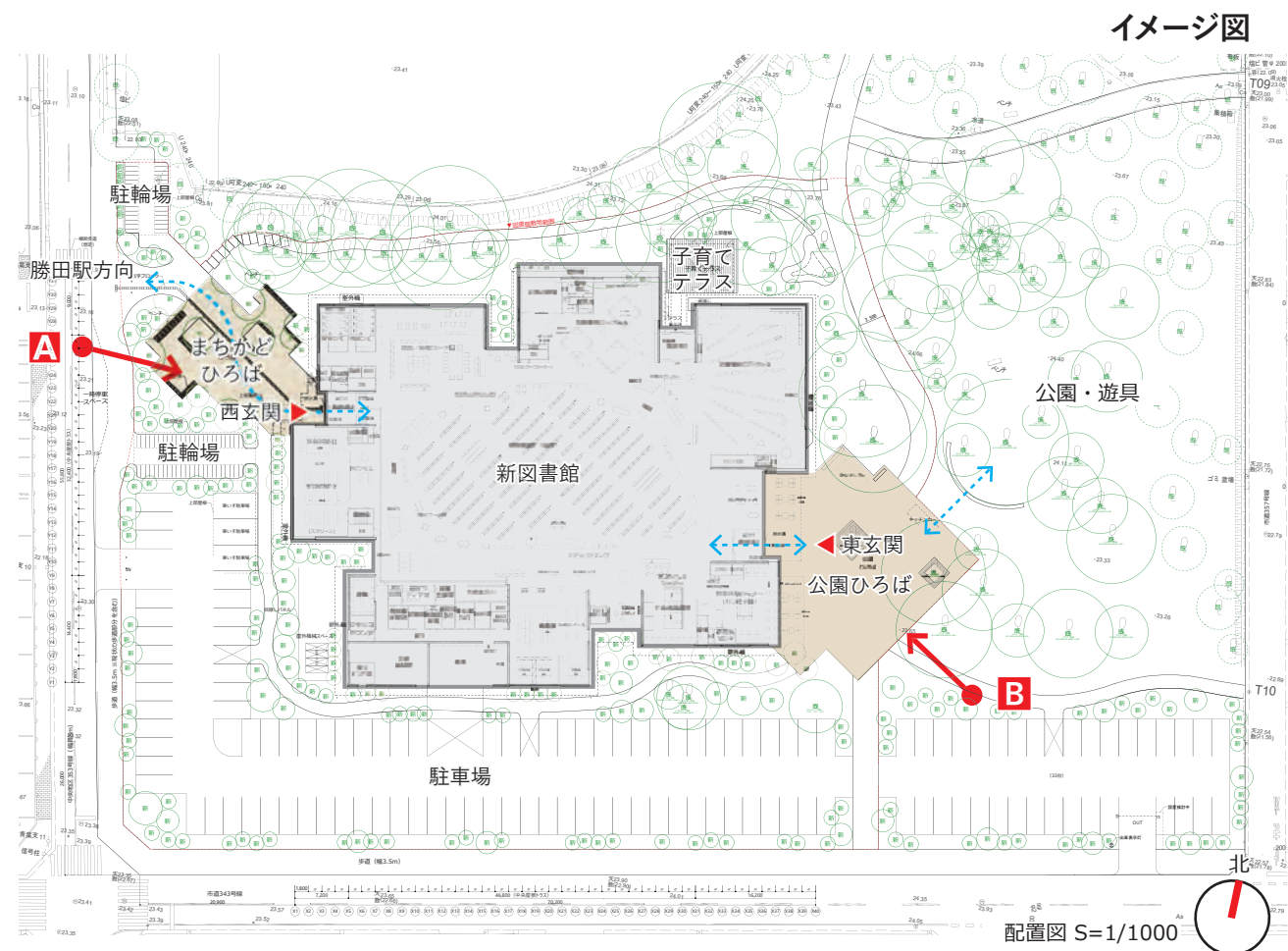
1 公園との一体的な整備を活かした、まちとつながる図書館

1. 緑・光・風あふれる快適な図書館

- ・既存樹木を活かしつつ敷地内に樹木を適切に配置し、館内のどこからでも公園の緑豊かな景観が感じられる計画とします。
- ・年間を通して安定した間接光が得られる北側の自然採光を生かした、明るく快適な館内環境を形成します。
- ・公園の涼しい風や新鮮な空気、木々が揺れる音が感じられる、公園と一体的な図書館ならではの環境づくりを行います。

2. まちとつながる2つの広場

- ・勝田駅（北西）および公園（南東）からのアプローチ空間に「まちかどひろば」「公園ひろば」の2つの広場を設けます。図書館や公園と連携した様々なイベントが可能なスペースとすることで、中心市街地の活性化にも貢献します。
- ・広場はゆとりあるスペースを確保することで、くつろいで過ごせ、マーケット、コンサートなど、様々なイベントが開催しやすい設えとします。



A 勝田駅方向からの人を受け入れるまちかどひろばのイメージ（敷地北西から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



B 公園と一体利用できる公園ひろばのイメージ（敷地東側から）
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

2 "人の活動・まちの情報・新たな本"と出会う「シビックリング」を骨格とした図書館

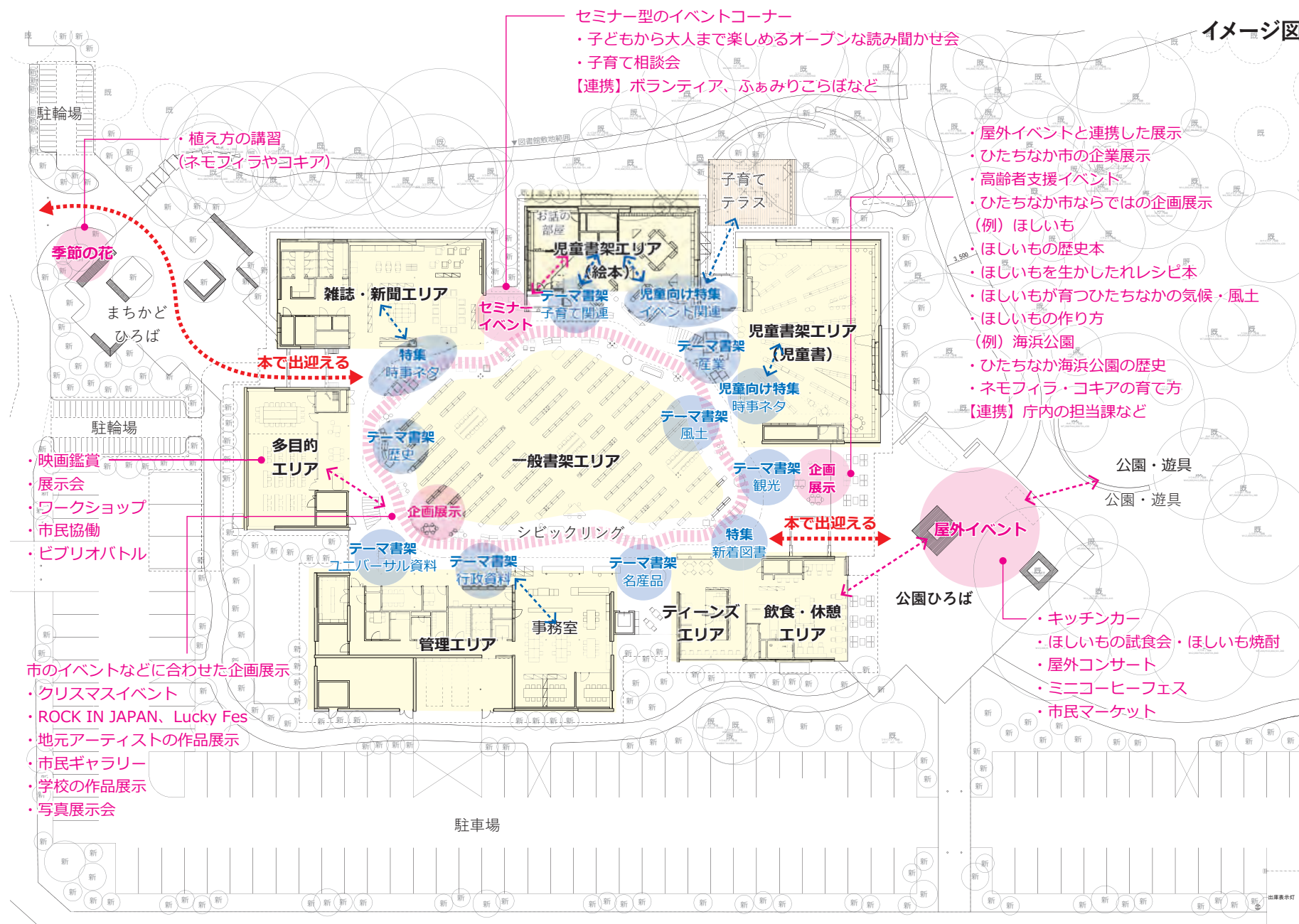
1. 人・まち・本との出会いを生む

- ・中央の書架をリング状に囲み、まちの魅力＝「人の活動・まちの情報」に出会える回遊空間＝シビックリングを計画します。
- ・人々の活動やまちの情報と一緒に、それをより深く知ることができる様々な情報コーナー（関連本やデジタル情報）を設け、シビックリングを巡れば、ひたちなかの魅力に出会える図書館をつくります。

2. 市民ワークショップで生まれた " 市民のアイデア " を生かした活動・展示空間

- ・市民ワークショップで生まれた市民のアイデアを生かした、ひたちなかの市ならではの活動・展示がシビックリングで行える計画とします。
- ・日常時・イベント開催時に合わせて家具を移動でき、空間を自由にカスタマイズできる設えとします。
- ・市民自らが企画したり、展示ができる仕組みや、市民団体や行政が連携した運営を検討します。

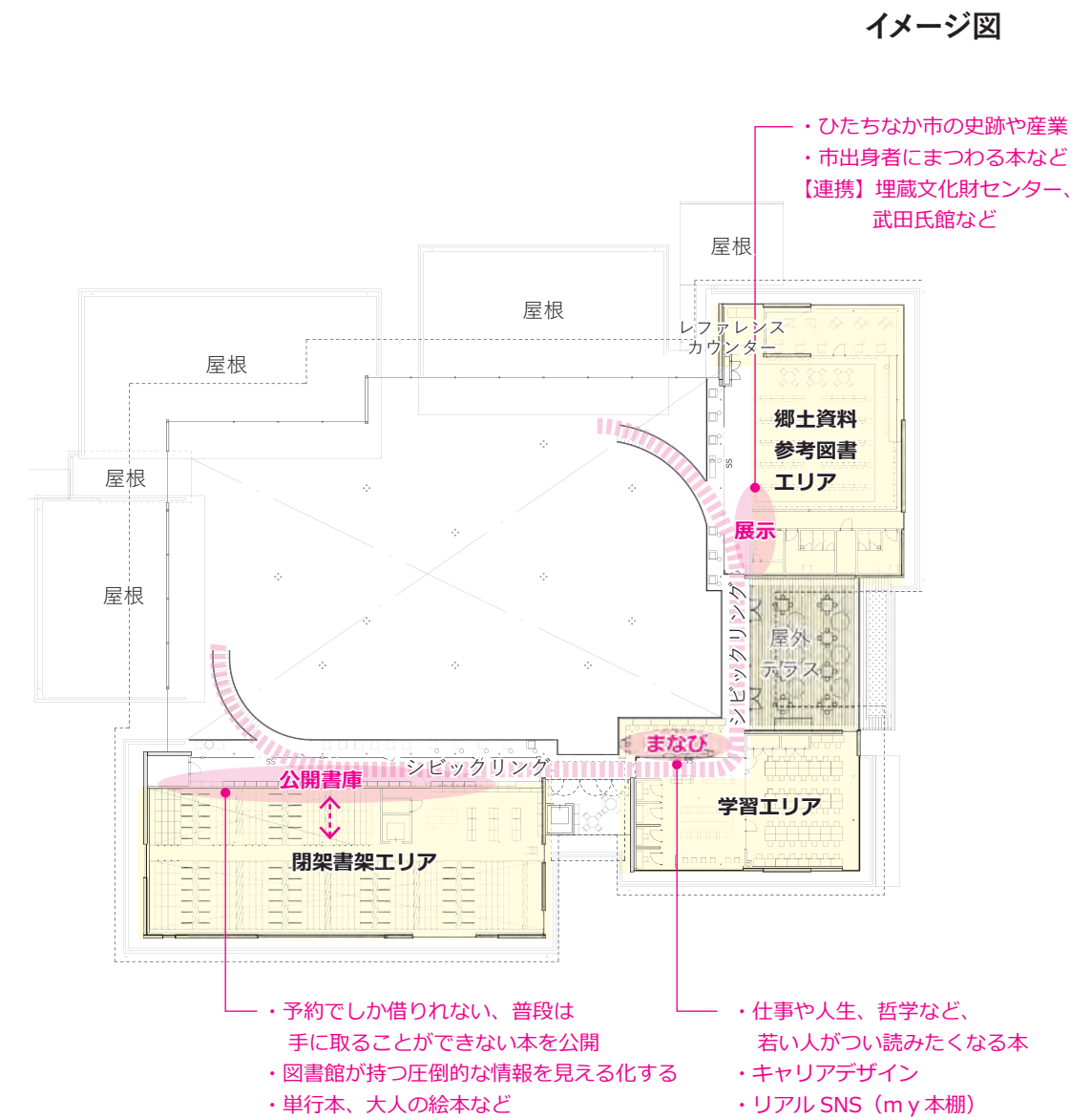
■市民ワークショップで生まれたアイデアを生かしたシビックリングの活動イメージ



1階平面図

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

イメージ図



イメージ図

2階平面図

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

平面图 S=1/600



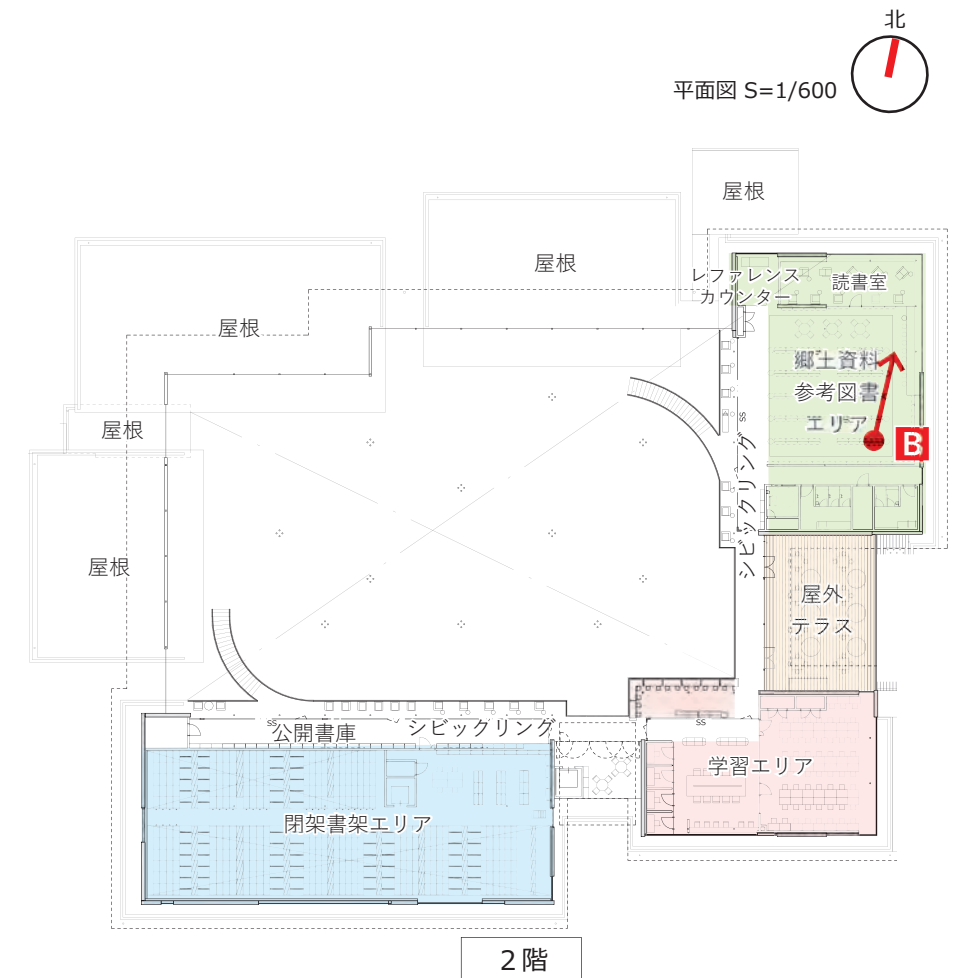
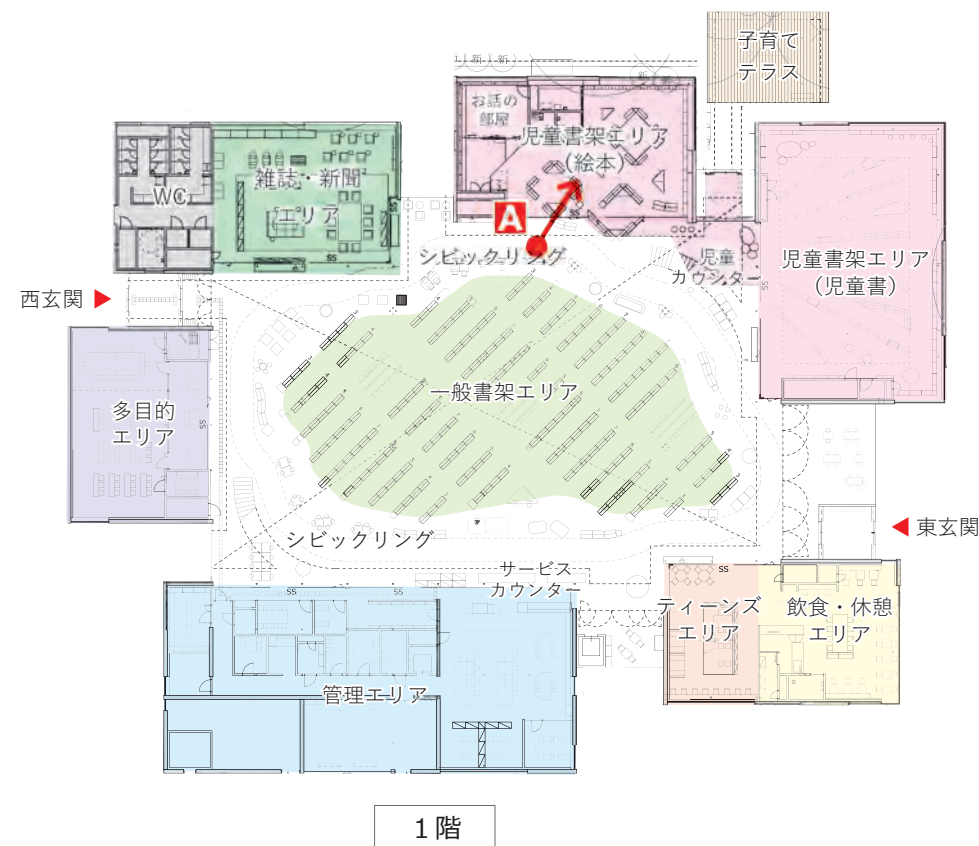
3 様々な活動が独立しつつ共存できる、誰もが安心して利用できる図書館

1. 中央に開架書架、外周部に各活動エリアを分散配置

- ・全ての人がアクセスしやすく、日射など外からの影響を受けにくい施設中央に一般書架を配置します。
- ・施設内を8つの活動エリア（雑誌・新聞、児童書架、多目的、管理・閉架書架、ティーンズ、飲食・休憩、学習、郷土資料・参考図書）に区分し、各活動エリア間の相互利用を考慮しつつ、適度な距離で外周部に配置します。
- ・各エリアの独立性を高めることで、賑やかに遊びたい子どもや、静かに本を読みたい大人等、それぞれの活動特性に適した環境づくりを行います。

2. 見通しの良い大きなワンルーム空間

- ・中央の一般書架エリアは、吹抜を設けた高天井とし施設全体が見渡せる開放的な空間とします。
- ・図書館ならではの本の世界観や、多世代の様々な活動が見えることで、本や人との偶発的な出会いを生み出します。
- ・各エリアの見通しを良くし、誰もが安心して利用できる空間づくりを行います。
- ・シビックリングを2階までつなげ、2階の積極的な利用を促進し、郷土資料や公開書庫に並ぶ様々な資料など、図書館が持つ知との出会いを生み出します。



イメージ図



A 親子で安心して楽しめる児童書架エリアのイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。



B 公園の景観を楽しみながら、ゆっくりと本を読める2階郷土資料・参考図書エリア (2階) のイメージ
※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

■内観イメージ



全体のイメージ

イメージ図



シビックリングのイメージ



A 西玄関前



B 雑誌・新聞エリア前



C 児童書架エリア（絵本）前



D 児童書架エリア（児童書）前



E 公園ひろば・展示スペース前



F 東玄関前



G サービスカウンター前



H 多目的エリア前

※今後の検討により、一部変更が生じる可能性があります。

■平面計画（各階平面）

□ゾーニング・フロア構成

- ・勝田駅側、公園側の両面から利用できるよう、東西それぞれに玄関を配置します。
- ・中央に一般書架、外周部に各活動エリアを配置し、その間の回遊空間にシビックリングを設けます。
- ・1階のワンフロアに子どもから大人までを対象とした書架を配置することで、親子連れでの利用しやすさを高めるとともに、世代にとらわれない本との出会い、交流を創出する計画とします。
- ・1階は児童書架エリア（絵本・児童書）、飲食休憩エリアなど賑わいのある空間、2階は学習室や読書室など静かな環境が求められる空間を配置し、空間ごとにふさわしい音環境を形成します。

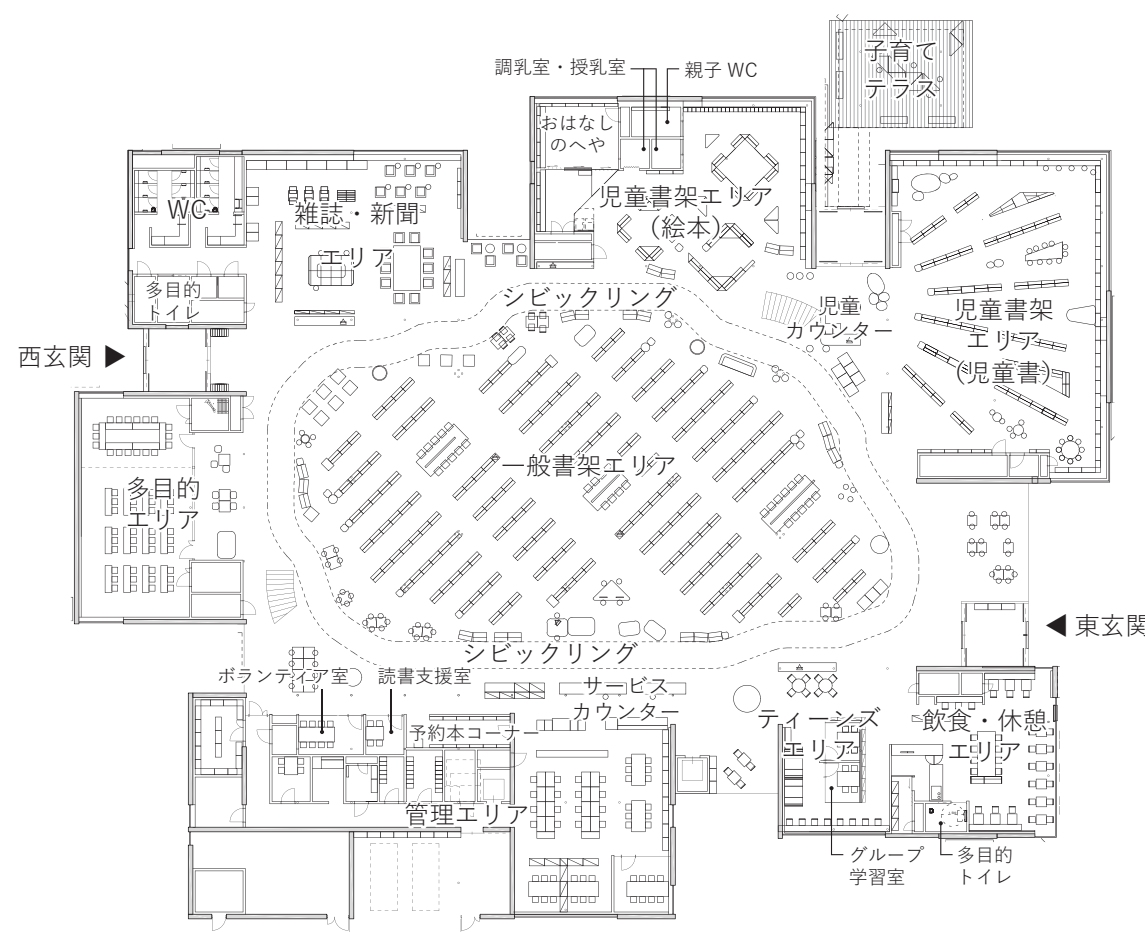
□1階

- 一般書架エリア
 - ・どこからでもアクセスしやすく、本を探しやすい書架配置とします。
 - ・シビックリングの展示や特集などとあわせ、偶然の新たな本との出会いも創出します。
- 多目的エリア
 - ・西玄関に近接配置し、講演会や映画鑑賞、各種イベント時の大人数のスムーズな移動に配慮します。
- 雑誌・新聞エリア
 - ・幅広い世代が気軽に利用できる図書館となるよう、西玄関から入ってすぐの場所に、手に取りやすい雑誌や新聞を配置します。
- 児童書架エリア（絵本・児童書）
 - ・幼児向けの絵本エリアと児童向けの図書エリアを分けて配置しつつ、隣接させることで、成長に合わせた利用の移行もしやすい計画とします。

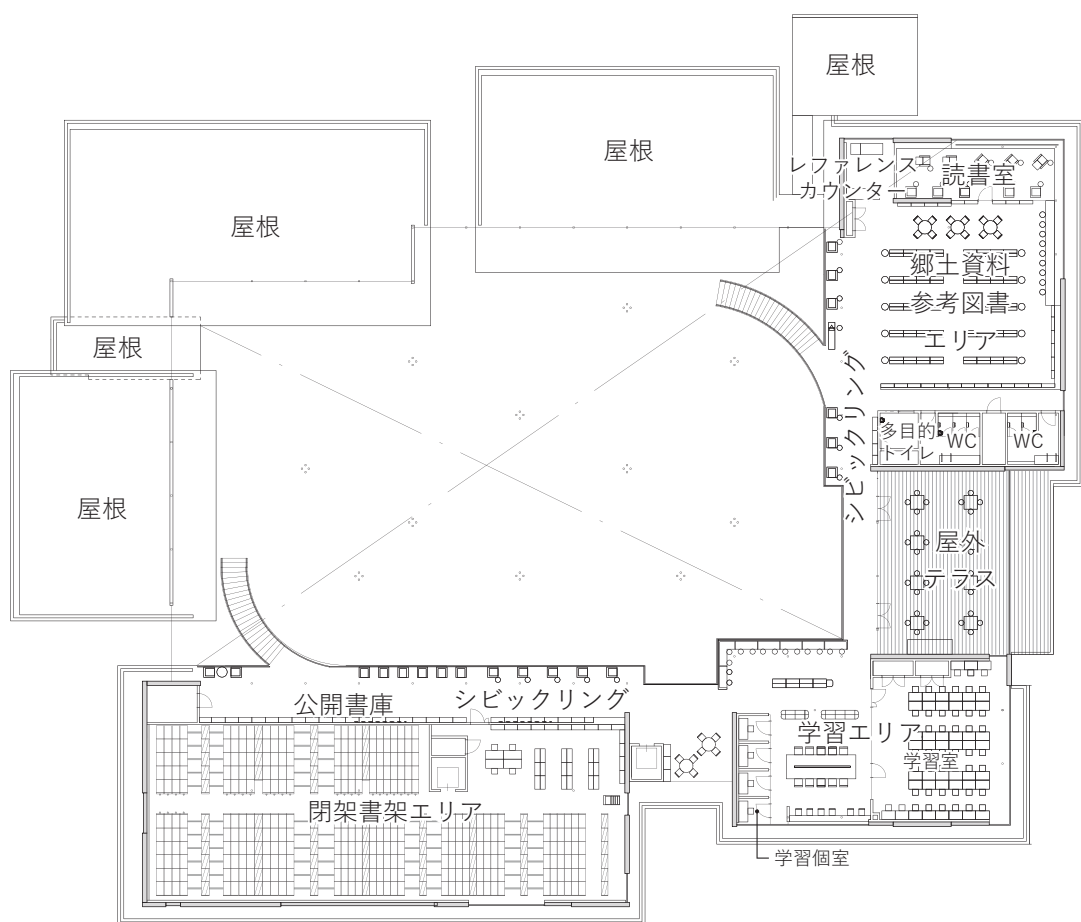
- ・絵本エリア内には、靴を脱いで利用できる小上がりやおはなし会を開催できる「おはなしのへや」を配置します。
- ・絵本エリアと児童図書エリアの間に屋外に出られるテラスを設けます。
- 飲食・休憩エリア
 - ・公園ひろばに面した明るく開放的な環境で、飲食ができるスペースを計画します。
- ティーンズエリア
 - ・ティーンズ向けのエリアにグループ学習室やボックス席を設け、ティーンズが安心して利用できる空間を整備します。
- 管理エリア
 - ・施設のどこからでも見えやすい位置に総合カウンターを設け、利用者がアクセスしやすい環境を整えます。
 - ・図書館ボランティアの方の打ち合わせなどに利用できる部屋や自分自身で予約本を受け取れる予約本コーナーを整備します。

□2階

- 郷土資料・参考図書エリア
 - ・落ち着いた空間のなかで、郷土に関する資料や参考図書を使った調べものができるスペースを整備します。
- 読書室
 - ・特に静かな環境下で落ち着いて本読みたい方のための部屋を整備します。
- 学習エリア
 - ・オープンな学習席に加え、静かな環境で学習ができる学習席や個人で利用できる学習個室など、様々な学習スペースを整備します。
- 公開書庫
 - ・吹抜けを介して見える位置に壁面書架を設け、図書館に入った時から、図書館が所蔵する沢山の資料を目にすることで、その世界観を感じることができる計画とします。



1階



2階

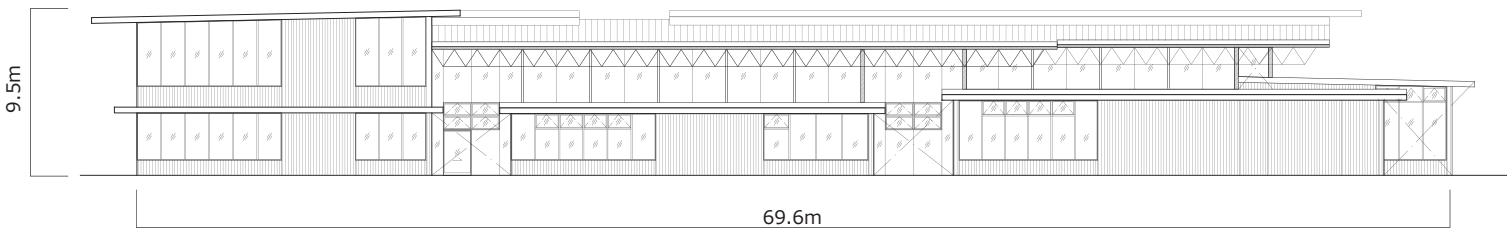
北
平面図 1/500

■立面計画

□外観

- ・建物の色合いやデザインは、公園内の緑など、周辺の景観に調和した計画とします。
- ・外壁の一部をリブ形状とすることで、周辺環境に馴染み、上質感も感じられる計画とします。
- ・熱効率や整備コスト、資料の日焼けなどを考慮し、日射負荷が高い南側・西側は壁面を主体とし、日射負荷が低く、公園への景観が望める北側・東側はガラス面を主体とした計画とします。

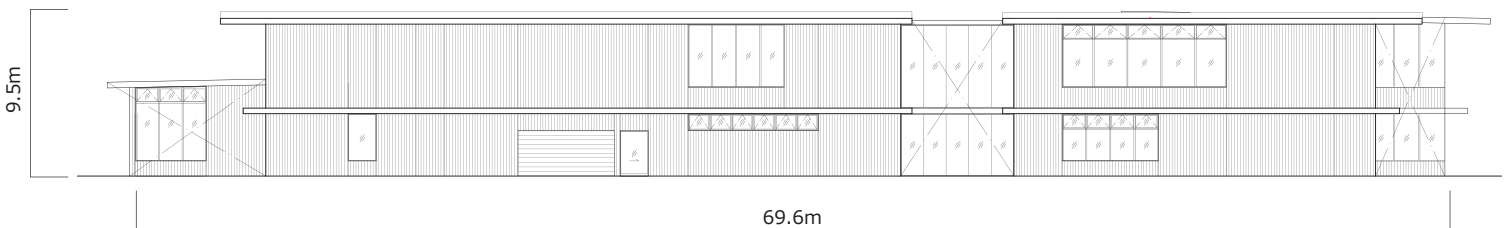
□立面イメージ



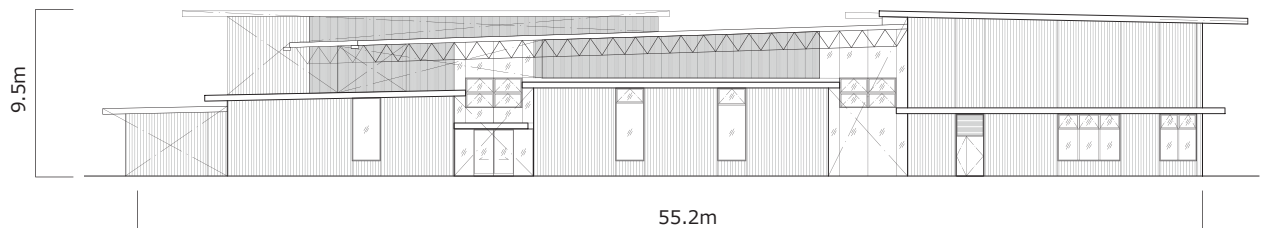
北立面図



東立面図



南立面図



西立面図

立面図 1/400

■環境計画・ユニバーサル計画

□環境計画

- ・高断熱化、高効率機器の採用等により省エネ化を図り、ZEB Ready（基準値に対する1次エネルギー消費量の削減率 50%以上）の認証を取得します。
- ・外壁や窓、屋根は、高断熱化により高い外皮性能を確保するとともに、庇による日射遮蔽を行い、室内への日射負荷を低減します。
- ・自然採光をなるべく取り入れつつ、照明は LED 照明を採用し、消費電力を削減します。
- ・個別空調と放射冷暖房を効率よく併用した空調計画とすることで、省エネ化を図ります。

□ユニバーサル計画

- ・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず安全に利用できるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・だれもが利用しやすく、わかりやすい、シンプルな動線計画とします。
- ・授乳室や親子トイレ、ベビーカー置場などを設け、親子連れも利用しやすい計画とします。
- ・オストメイト対応の多目的トイレや車椅子使用者対応のエレベーターなどを整備します。
- ・車椅子使用者駐車場から玄関まで屋根を設け、車椅子を使用する方などが雨天時も利用しやすい計画とします。

■外構計画

□駐車場・駐輪場

- ・敷地南側に約 120 台の駐車場を、既存の東石川第4公園駐車場と一体で整備します。
- ・駐車場は入口と出口を分け、駐車場内は原則、一方通行となる計画とします。
- ・敷地西側（まちかど広場側）に約 80 台の駐輪場を整備します。
- ・駐車場と外周道路との間に、3.5 m 程度の広さの歩行者空間を整備できる計画とします。

□園路

- ・駐車場と図書館建屋の間に東西につながる通路を整備します。
- ・駐車場から公園ひろばを通り北側へ通り抜ける園路を整備します。
- ・野球グラウンドと図書館建屋の間に既存樹木の間を抜ける小道を新たに整備します。

□植栽

- ・公園の既存樹木（クス、ケヤキ、シラカシ、トウカエデ）を活かすとともに、常緑樹・落葉樹をバランスよく配置し、四季を感じられる植栽計画とします。
- ・ひたちなか市の気候・風土に適した樹種を、維持管理コストも考慮し、選定します。

□舗装

- ・広場や園路は歩きやすく、色合いや素材など周辺の景観に馴染む計画とします。
- ・駐車場は耐久性があり、透水性を確保できる舗装とします。

■工事費概算

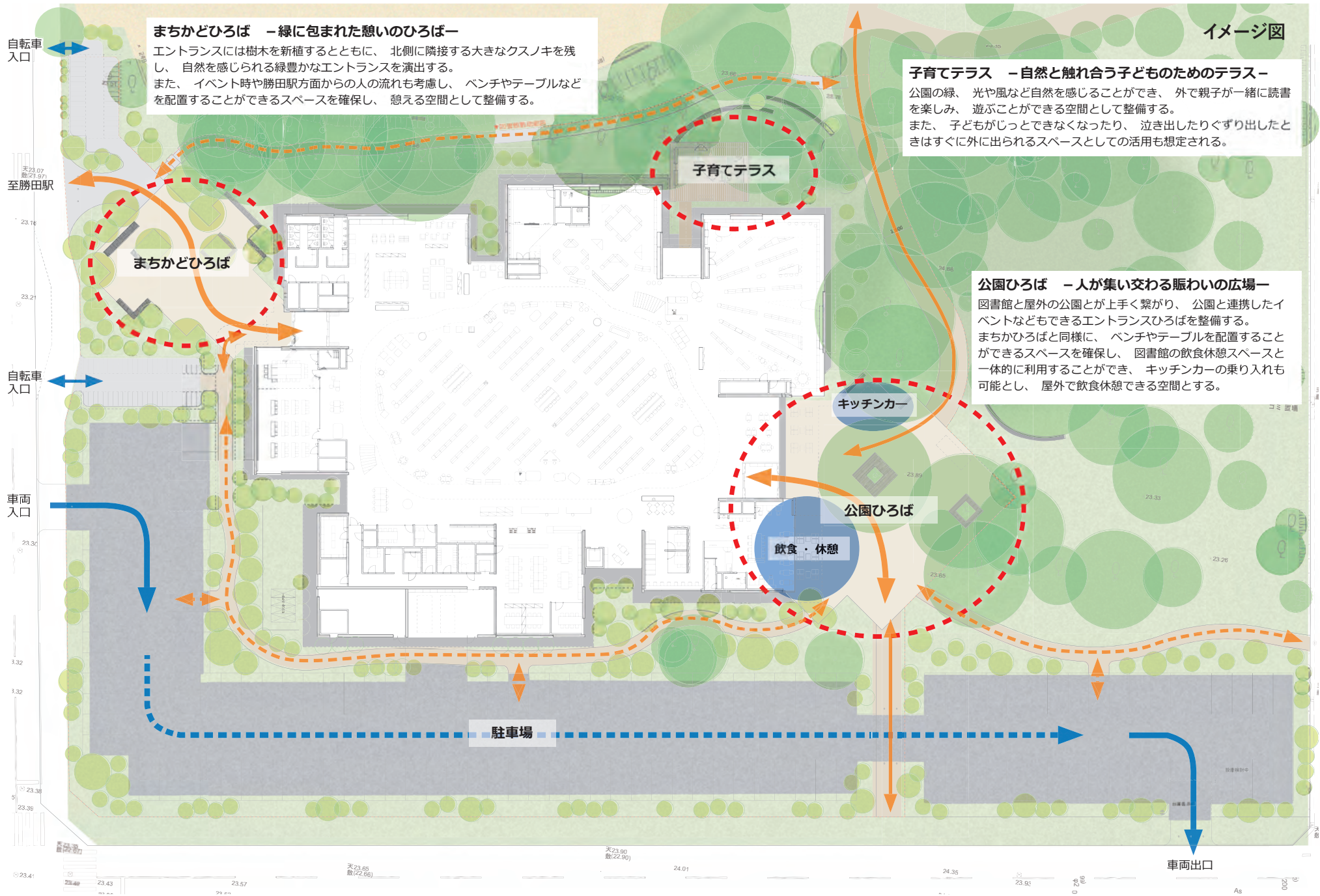
本 体 工 事 費	：4,174 百万円
外 構 工 事 費	： 356 百万円
合 計	： 4,530 百万円

本体工事費…建築、電気設備、機械設備、家具什器 等

外構工事費…駐車場、駐輪場、広場、園路等

※別途工事

- ・造成
- ・近隣対策
- ・各種インフラ引込負担金
- ・LAN 機器
- ・既存物移設
- ・消火器本体
- ・地中障害撤去
- ・土壌汚染調査および撤去
- ・OA 機器
- ・図書館システム（ICT 設備等）
- ・機械警備
- ・AED 本体 など



配置図 1/600